

平成28年度 地域生活支援センター「あぷろ」事業報告概要

項目	主な概要
利用者状況	<p>グループホーム(第1支援課) H29.3.31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大町ハウス(5名) ・青葉ハウス(5名) ・みずきハウス(3名) ・白老ハウス(4名) ・桜丘ハウス(4名) ・すずらんハウス(4名) ・ハイツ日の出(5名) ・ホームりん(5名) ・みなハウス(5名) ・あさひハウス(5名) ・サテライト(3名) <p style="text-align: right;">(計48名)</p> <p>内訳: 区分1-6名、区分2-11名、区分3-13名、区分4-17名、区分5-1名 <small>(ホプリ籍27名・就労継続B21名、生活介護6名、みらいえ7名、愛泉園5名、一般就労9名)</small></p> <p>グループホーム(第2支援課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いころ(7名) ・のんの(7名) ・れら(7名) 内訳: 区分4-4名、区分5-10名、区分6-7名 <p>グループホーム(第3支援課) (みらいえ14名、愛泉園7名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そら(7名) ・とも(7名) ・のあ(7名) ・かい(6名) <p>内訳: 区分3-2名、区分4-7名、区分5-14名、区分6-4名 <small>(ホプリ就労継続B1名、ホプリ生活介護6名、みらいえ12名、愛泉園8名)</small></p> <p>短期入所(単独型・定員3名)(併設型・定員1名)</p>
支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者総合支援法による地域生活利用者支援及び短期入所事業の推進 ・利用者個々の状況に沿った支援機能の充実を図るための3課体制 ・医療連携体制による看護師配置と栄養管理等による総合的な健康管理 ・住環境改善のため新規グループホームの取得準備 ・支援センターあぷろの地域生活利用者の拠点としての役割
日常支援	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活の支援－小集団による衣・食・住に係る基本的支援の実施 ・健康医療支援－日常健康管理、個人症状への対応、定期通院、緊急通院等 対応、インフルエンザ等感染症予防のための対策及び支援 ・環境衛生支援－身辺衛生の点検、必要対象者への強化支援の実施 ・金銭管理支援－「あぷろ」による預り金管理支援、本人管理金銭面支援 ・巡回時相談支援－定期的に実施、必要により強化支援
生活状況の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化や高齢化に対する看護栄養管理による日常生活支援の提供 ・様々な障害特性に応じた支援スキルの確立による日常生支援の提供 ・健康面や基礎疾患の応じた潤いのある食事内容の提供
地域支援会議	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームチーフ会議、各ホーム会議の実施(月1回) ・日常的な連絡事項については支援センターあぷろ・はあもにいての対応 ・地域生活支援センター会議、各ホーム単位会議の実施
自治会活動等支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域利用者自治会「青葉会」の運営、研修・行事等支援 ・青葉会事業－総会等、青葉会行事、余暇活動支援、利用者研修参加 ・ホーム単位行事、外出及びホーム内行事の計画準備・引率等の支援 ・年末年始等未帰省利用者の外泊行事等支援
短期入所等 支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・併設型短期入所事業の実施(1名定員-実人数2名総数110回) ・少人数単位での集団生活体験
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な労務管理の実施 ・各種の研修を実施し、職員の資質及びサービスの質の向上 ・災害に備えての防火防災訓練の実施(2回)及び防犯対策等への共通認識 ・地域生活拠点としてのセンター機能の一元化に向けての準備 ・関係資料 地域生活生活者の状況、平成28年度地域実施工事一覧